

## 平成30年5月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km<sup>2</sup>)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,493	8,850	4,511	4,339	60	54
2 千 石	4,011	6,877	3,450	3,427	6	17
3 内 山	5,593	7,786	4,101	3,685	34	29
4 大 和	3,428	6,714	3,325	3,389	114	176
5 上 野	7,278	15,363	7,653	7,710	122	158
6 高 見	7,340	13,474	6,469	7,005	88	111
7 春 岡	6,868	10,921	5,774	5,147	49	49
8 田 代	11,512	22,014	10,633	11,381	98	173
9 東 山	10,307	19,419	9,549	9,870	38	51
10 見 付	4,404	8,224	4,150	4,074	85	105
11 星 ケ 丘	3,523	6,909	3,133	3,776	17	35
12 自 由 ケ 丘	3,538	7,279	3,315	3,964	6	12
13 富 士 見 台	6,468	15,426	7,150	8,276	27	34
14 宮 根	3,836	8,315	3,967	4,348	△ 21	△ 35
15 千 代 田 橋	3,659	8,532	4,003	4,529	15	29
千 種 区 計	87,258	166,103	81,183	84,920	738	998
H29.5.1	86,403	165,711	81,025	84,686	684	956
対 前 年 比	855	392	158	234	54	42
名 古 屋 市	1,098,845	2,318,084	1,144,468	1,173,616	5,906	6,952
愛 知 県 ( H30.4.1 )	3,168,498	7,521,078	3,761,341	3,759,737	8,613	△ 7,352

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	121	95	26	2,478	1,506	972

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

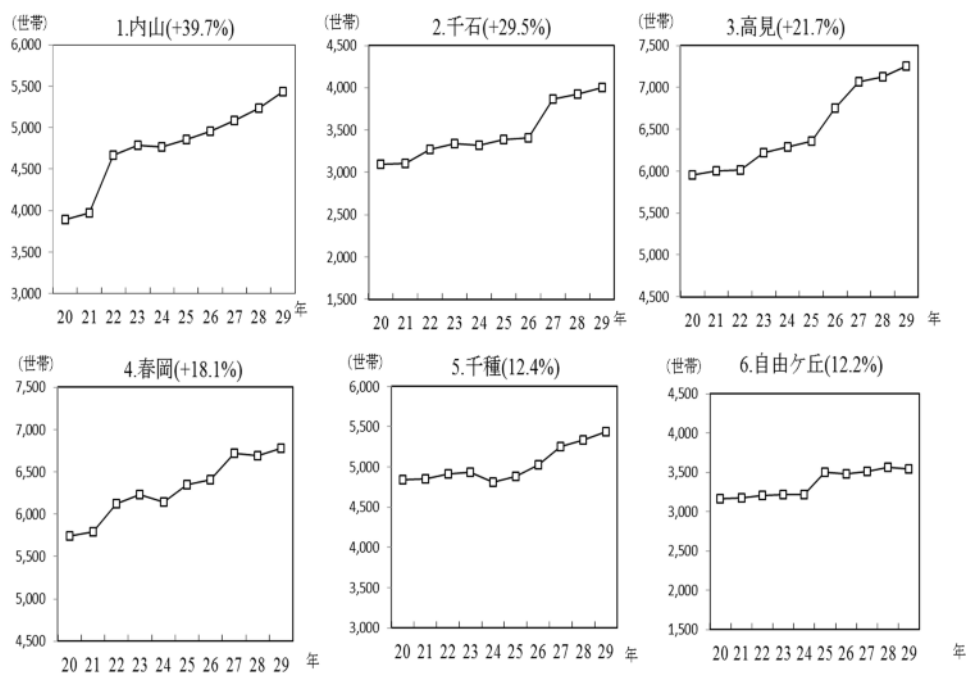
注) 世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

## 千種区の世帯数と人口増減の概況

平成 30 年 5 月 1 日現在の千種区の世帯数は前月比 738 世帯増の 87,258 世帯となっており、人口は前月比 998 人増の 166,103 人となっています。今回は千種区の世帯数と人口増減の内訳を学区単位で見っていきます。

平成 29 年 10 月現在の千種区の学区別世帯数は、多い方から田代学区 (11,431 世帯)、東山学区 (10,319 世帯)、上野学区 (7,252 世帯) となっています。世帯増加率 (対平成 20 年

図1: 千種区の学区別世帯増加率上位6学区 (対平成20年比) 各年10月1日現在

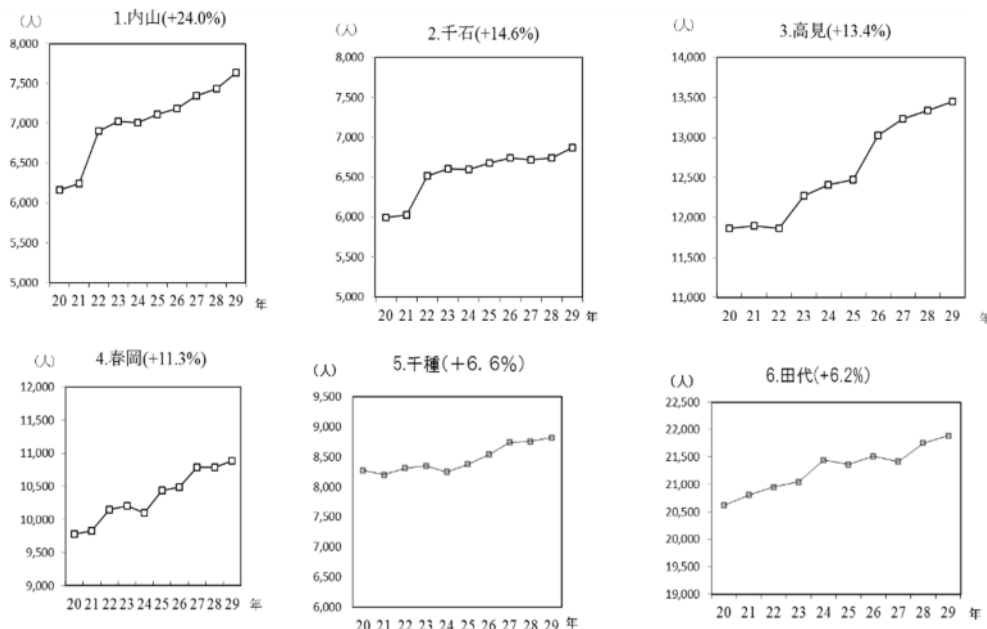


10 月比) を見てみると、千種区全体では 11.3% で、名古屋市全体 (8.8%) を上回っています。

千種区の学区別世帯増加率を大きい順に並べると、内山、千石、高見、春岡、千種、自由ヶ丘学区の順になります (図 1)。

平成 29 年 10 月現在の千種区の学区別人口数は、多い方から田代学区 (21,889 人)、東山学区 (19,505 人)、富士見台学区 (15,484 人) となっています。人口増加率 (対平成 20 年

図2: 千種区の学区別人口増加率上位6学区 (対平成20年比) 各年10月1日現在



10 月比) を見てみると、千種区全体では 5.4% で、名古屋市全体 (3.0%) を上回っています。

千種区の学区別人口増加率を大きい順に並べると、内山、千石、高見、春岡、千種、田代学区の順になります (図 2)。